

2012/08/23

「福島を助けたい」と想ってくれている

あなたへ

～福島に住む市民のひとりとして～

PRESENTATION



## 1.不安と恐れ

- ・ いつ除染されるのか？
- ・ 除染は必要か？否か？
- ・ 除染により他を汚染しないか？
- ・ 逃げられない現状
- ・ もう何も言わなくて良い
- ・ しょうがない
- ・ 期待するとその分がっかりする
- ・ 変化しない現状と、生きていかなければいけない実情
- ・ 会議と議論ばかりの上役
- ・ 秘密裏（住民公開しない）に行われる行政との町内会議
- ・ やる気のない高齢の町会長
- ・ 科学的根拠など今さらさほど必要ではない。（どうせ説得させられる）

**最終的にはいつ安全・安心を得られるのか？**

## 1.何を考えどうしたいのか？

### ➤根強い怒り（直接）

- ・ この惨劇を誰にぶついたらよいのか？
- ・ どうしてここまで放っておいたのか？
- ・ 未だに嘘ばかり
- ・ 福島より、政界のパワーバランス合戦

### ➤憤り（心の中）

- ・ 「誰かがいけない」 などもうどうでもいい
- ・ 普通の生活を取り戻したい
- ・ 私たちの「普通の未来」を誰が保証してくれる
- ・ 問題はお金ではない！
- ・ 原発反対など、どうでもいいが活動方向がない

## 1.何を考えどうしたいのか？

### ➤行動

- ・何をどう行動するのか、本当に自分たちがやらなければいけないのか・・等被っている惨劇に自分から行動しなければいけない理由がわからない。やる気が無いわけではなく、どの様に行動したらよいかかわからない。
- ・年上は、もう自分の時代に何か問題を起こさないで欲しい・・・  
(腰が引けている)  
そんなお年上は必要ない、しかし権力がそうさせてくれない・・・。

### ➤困っていること

- ・地域で行う除染(補助金あり)に限界がある。(人、物、知識-お願い先)
- ・技術的安全と精神的安心の両立除染が必要
- ・除染しても下がらないところの報告先と改善方法(道路L型側溝など)
- ・業者の技術レベルと考えレベル(マインド)のアンバランス

**最終的には責任を持って誰がやる？**

## 1. 2極の活動方針

### 1. ヒール(悪者)を必要とする活動

- ・ 悪者をつくり出す方針
- ・ 政治的な圧力を高める

### 2. 純粹に安全な町をつくり出し生活をしたい活動

- ・ 最善をつくし失敗を恐れない
- ・ 現場の現状を見据えた金銭的な支援

どちらも必要だが

市民は迷っていて、前に進めない

⇒ そのうちどうでも良くなってしまう(無気力)  
社会構造の崩壊(東電はこれをねらっている?)  
目先の利益で結局自分たちの首を絞めている。

1. 地域を若者にまかせる
- 2.. 活動させる
3. より深いネットワークを構築する
4. 町内会を一新する
5. TOPダウンの方法を市民全員にしらせる
6. 役所も町も、互いに「批判」を怖がらない、恐れない
7. 知識を共有する
8. 不必要な物はCsではなく困惑や不安 (もちろんCsも不要だが)
9. 今こそリーダーシップを取るべき専門団体が必要

- 1.町内会の会議に「**第3者**」を入れて  
権力バランスを正常化する。【**行政民間の一体除染**】
- 2.町内会を活性化する「**テコ入れ策**」
- 3.必要な知識をより多くの人に知って貰うための「**小さな勉強会**」
- 4.行ったことを誇示せず、**実績や実務を評価する体制**
- 5.要望書を受け付ける **体制と部署の設置**

# 国・県・市町村は既に信用されていない

ーバックエンド部会に期待する具体的な支援ー

- 1.市町村への具体的な支援(困っていることをまずは聞く)
- 2.町内会への「小さな勉強会」開催支援
- 3.バックエンド部会の存在アピール(安心できる団体の存在)
4. **積極的な地域への情報の発信**
  1. 色々な先生はもう不要、誰を信じたらいいのかわからない、結局自分たちに都合の良い意見だけを取り入れようとしてしまう住民。
- 5.国、県、市町村、町を掌握できる中央組織

最終的には部会が有名になり安心できる  
地域づくりを小さくても協力して欲しい

**【バックエンド部会の協力が有るのなら・・・】**  
**という安心を 住民と行政 に持って貰いたい。**

## この場をお借りして御礼致します

ようやく、ここまで来れました、昨年来より真剣にお付き合いして  
頂いた事を本当に深く感謝します。

そしてこれらもどうぞお忘れなく、福島を支援し続けてください。

それが、私からの願いです。

これからも、安心して安全な町づくりの為に活動していきます。

### 発表者略歴

ビルド・ファクトリー設計事務所 所長 中沢 達浩

連絡先 024-573-5568 住所 福島市豊田町2-10

福島で平成24年3月15日より、放射能と向き合い日々解決の糸口を見つけもがき苦しむ。

平成23年8月にバックエンド部会と交信（稲垣准教授）

平成24年 2回の勉強会を福島で開催（バックエンド部会協力）

平成24年5月 日本原子力学会正会員

同上 バックエンド部会入会

平成24年3月～ 福島市と共同、除染水浄化実験開始

平成24年7月 美しい福島復興協同組合設立総会

現在に至る